

柏崎市教育大綱

基本理念

「賢く、元気に、一層豊かに」

「現実を見つめ、理想を求める」

「自分を大切に、人に思いやりを」

子どもたちを取り巻く社会

国際化は当たり前のものとなり、物事の進展、変化は激しく、そのスピードはますます速い。アイデンティティ、個性が尊重され、価値観は正に多様化してきている。同時に、他者への関心、配慮、また、組織、コミュニティへの帰属性は薄らぎつつあると言われている。

国においては①狩猟社会②農耕社会③工業社会④情報社会に続く新しい社会、つまり超スマート社会 Society 5.0 時代の到来を記している（第3期教育振興基本計画）。この流れ、つまりAI（人工知能）やAR（拡張現実）、ICT（情報通信技術）、IoT（モノのインターネット）によるデジタルの時代は生産合理性をもたらし、便利で快適な生活を導き、そして、人が行う領域を限定していく。一方、日本においても非人間的な行動、相手を思いやることのない振る舞いが事件として毎日のように報道されている現実がある。合理性の追求にのみ目を奪われた結果のようにも思える。非合理領域（情緒、感性、倫理）の価値を見失っているのではないか。

当たり前のことだが、技術革新、イノベーション、デジタル技術は、人のためにある。人を思いやることは、少なくとも二進法ではない。柏崎市の教育はデジタル社会の今だからこそ、真に豊かな社会を作り出す、人の力、「アナログの力」の充実をまず目指す。

基本目標

- ・基礎学力をしっかりと身に付けた子どもを育む
- ・新たなこと、更なる高みに挑戦する子どもを育む
- ・他者を思いやることができ、社会規範を身に付けた子どもを育む
- ・生涯学び、向上し続けられる環境を育む

具体目標

- ・基礎学力（国語、算数、数学）向上
- ・体力向上
- ・いじめ見逃しゼロ
- ・知的好奇心の向上、健康の保持

重点施策

- ・英語よりもまずは国語（小学校）
- ・コンピュータよりもまずは算数、数学
- ・キャリア教育よりもまずは柏崎の自然、伝統、文化に触れる活動（小学校）
- ・指導補助員、介助員、A L T（外国語指導助手）の更なる充実
- ・ハンディキャップを持つ方との時間の共有
- ・部活動指導員の確保
- ・学校事務処理作業の効率化、教員支援
- ・既存生涯学習施設・スポーツ環境の充実

柏崎市は、「強く、やさしい子ども」を育てます。

教育はまちづくりの原点と考え、可能な限りの財源を投入します。

令和2（2020）年1月28日

柏崎市長

